令和5年度　”社会を明るくする運動“可児地区作文コンテスト
中学生の部　社会を明るくする運動可児地区推進委員会　会長賞

# あいさつでつながる

可児市立西可児中学校　3年
柴田　来軌

四月、三年生になった僕らは、新しいクラスはどうか、受験いやだな、いつものメンバーで、いつも通り変わらない話で盛り上がっていました。ある日の下校中、またいつもと変わらず、くだらない話をしていました。
「お帰り」
と、公園の方から一声、見知らぬおばあちゃんでした。日傘を差して最高の笑顔であいさつをしてくれました。しかし僕らは慣れていないので、会釈程度のことしかできず公園をすぎて行きました。次の日も、また次の日もあいさつをしてくれて、勝手に気まずさを感じたまま二週間が過ぎていきました。
朝の登校中、話し合いました。きっと今日もあいさつしてくれる、もういっそのことすごく元気に返そう。と結論を出して学校に行きました。下校時、予想通り明るいあいさつをくれました。全員そろえて言った「ただいま」は部活動のあいさつのようでした。
続けること一週間、友人の一人が少しふざけてみることを提案、わざわざ昼休みに集まってなんて言うか考えて、その日の帰りに実際に使いました。おもしろおかしく笑ってくれて、僕らも気まずさはだんだん消えていって、友人のようになっていきました。
次は大きく手を振ってあいさつをしたり、話しかけてくれた事に一言返して帰るようになったりました。そして七月、ついに皆で公園に寄って立ち話をしました。おばあちゃんの昔の話、僕らの学校生活の事、いろいろ話してお孫さんまで見せてもらえました。夏休みに入ってからは通ってないのでなかなか会えませんが、学校がはじまったら元気にあいさつをしたいです。たまに公園にいない時、僕らはどこか不安になったり、その間にどんなあいさつをするか話したり、気付けばそのおばあちゃんの話でいっぱいのことも。まるで友人のように、昔から近所に住んでいて顔見知りだったかのような仲になりました。毎日の下校がすごい楽しくなりました。
すごいと思いませんか？顔も知らない、もちろん話したことだってない。そんな人と三か月、「ただいま」「おかえり」と言い合って、本当に少しの会話でここまで仲良くなれるんです。
僕は、社会をより良くする、地域をよりよくするためには地域の方とのコミュニケーションや信頼できる関係をより多くの人と築くことが大切だと考えています。一番効果的な事は地域のイベントに参加してみることでしょう。しかし、学校や予定があるとなかなか参加できませんよね。そこで、日常の中でいつでも手軽にできる「あいさつ」をおすすめしたいです。実際に、僕

はあいさつで人間関係をつくることができて、毎日の楽しみも増える、悪いことはないと思います。

しかし、あいさつが苦手な人は少なからずいますよね。その場合、何もせず通り過ぎるのではなく、会釈から始めてみたり、小さな声でもあいさつをしてみたりすることであいさつをする温かさを感じられると思います。

ぜひ自分のできる関りから始めてみませんか。